

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点等	改善内容や改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		・各活動エリアの人数を調整している。	
	2	職員の配置数は適切であるか	○			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			・発達支援センターぐるんぼと連携し、環境整備についても指導・助言を受けながら改善を図っている。 ・個の特性に応じた環境の工夫改善。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		・児童の活動や移動する際の動線などがスムーズに行われるようにしている。	・より衛生的で心地よく過ごせるよう清掃作業を強化する場所を周知する。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		・年間重点目標を示すとともに、個人面談等で参画意識を高めていく。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・保護者による事業所評価を実施し、課題を職員で共有し、業務改善に反映させる。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		・評価表の事業所内掲示や広報、ホームページ等により公表している。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		・外部評価を積極的に業務改善につなげ、その結果を示していく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		・所内研修や視察研修等を計画的に実施している。 ・Web研修用のPCを購入し、研修の機会確保に役立っている。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		・子どもと保護者のニーズや課題と事業所でのアセスメントをすり合わせ支援計画を作成している。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		・児童発達支援ガイドラインを基に適切に作成している。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		・児童発達支援計画に沿った支援を実施し、記録している。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		・職員で確認し合い内容を検討している。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		・個々の特性に合わせて活動内容を考えている。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		・アセスメントを行い一人一人に合った個別と集団活動を組み合わせ作成するようにしている。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		・職員朝会にて打ち合わせを実施している。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		・支援記録のデジタル化を導入して共有を図っている。 ・気になる点は支援の振り返りや方向性を検討し、共通認識のもと支援している。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		・記録を職員で共有し支援にあたっている。	
関係機関や保護者との連携	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		・半年に1回のモニタリングを確実に実施し、それ以外でも状況が変われば必要に応じて見直している。	
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		・児童発達支援管理責任者が参加している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		・定期的に支援会議を実施し情報共有に努めた。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	/	/	対象児童在籍無し	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	/	/	対象児童在籍無し	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	改善内容や改善目標
関係機関や保護者との連携	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・定期的に保育所等と連携し、支援内容等の情報共有を図っている。	・保育所等との連携をより一層推進する。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・就学前に小学校と個別連携を実施している。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		・発達支援センターぐるんぼと定期的に連携し、指導・助言を受けている。 ・他の事業所とも情報交換を実施している。	・発達支援センターぐるんぼとの連携をより一層推進する。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○	・難しい中であつたが保育所1か所との交流を実施した。	・各施設との連携を継続していく。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		・管理者または児童発達支援管理責任者等が参加している。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		・面談や利用時の連絡ノートで伝えている。	・保護者と面談できる場を増やしていく。
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○			・継続して保護者支援の充実を図る。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		・契約時に契約書及び重要事項説明書で説明している。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		・面談にて説明を行い個別支援計画書と同意書に押印をもらっている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		・定期的を実施する以外にも保護者から希望があれば相談を受けるようにしている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		・新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながら、保護者会や親子広場等を実施してきた。	・新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、保護者同士がより連携が図れるような場の設定をする。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		・定期的を実施する以外にも保護者から希望があれば相談を受けるようにしている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		・新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながら、親子会等では地域の人材を活用して交流を図った。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		・避難訓練(火災・地震・不審者対応)を計画的に実施している。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		・契約時の聞き取りや家族から情報提供してもらったアセスメントシートで確認している。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		・職員間で情報共有を図り対応している。	・必要があれば保護者と綿密に連携し、指示書による対応に努める。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・ヒヤリハット事例が周知されるよう文書を作成して回覧するなど共有化を図る。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		・虐待防止委員会を設置するとともに、法人全体での虐待防止研修に参加した。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		・身体拘束等の適正化のための指針をもとに、身体拘束等の適正化のための職員研修に参加するなど適切な対応に努めている。	